

## 2. 環境保全団体の活動紹介

八王子市内では、環境市民会議だけでなく、地域で環境保全活動を展開している団体が多数あります。こうした地域に根ざした様々な活動が力となり、望ましい環境像へと向かいます。

### リサイクル工房

平成9年10月に、北野あったかホール（北野余熱利用センター）内のリサイクル工房にて、八王子市のごみ減量・リサイクル推進を目的に、市民ボランティアによって活動がスタートしました。現在は38名のボランティアで構成され、楽しく活動をしています。

リサイクル工房内では、曜日ごとに「牛乳パックから作る紙スキはがき作り」や「おもちゃの病院」、「刃物研ぎ」、「布団布等を裂いての織物作り」などの3Rの推進を最大のテーマにした活動を行っており、18年度は約8,700名の方に来場いただきました。昨年度に比べ、約1,000名も来場者が増えており、ごみ減量・リサイクルへの意識が向上してきているものと思います。また、市内小学校や市民センターまつりにおいても「紙スキはがき作り」や「おもちゃの病院」などの出前講座も行っており、積極的に活動しています。



紙スキはがき作り体験中

### エコ・ネットワーク八王子

エコ・ネットワーク八王子は八王子市環境学習リーダー養成講座開始に応じて、そのカリキュラムの企画立案・運営に協力する目的で、八王子市在住の東京都環境学習リーダー有志により平成14年5月に設立した団体です。第1期八王子市環境学習リーダー養成講座修了に伴い、その後の修了生を加えるよう会員資格を拡大し、2期以降の八王子市環境学習リーダー養成講座の企画・運営に協力してきました。これは環境学習部会により対応しています。会員相互の情報交流と研鑽を目的とします。会員数約70名です。

18年度は第4期講座の運営実施が環境学習・リサイクル推進協議会に移管され、場所をエコひろばに変更、運営協力として、当会会員以外のメンバーを加えた運営部会を組織し実施されました。

会員の活動に応じて、プロジェクト制をとり、炭やきプロジェクトは、18年度は明星大学と共同して、枯死寸前の松の再生を目指して高尾に炭撒きの実施や無煙炭やき装置の研究を行いました。

「タやけ小やけふれあいの里で地域文化の体験と交流学习」など4件の文化体験事業にもスタッフとして参加しました。

いちよう祭りにも参加し、西南部地区環境市民会議とともに、ゴミプロジェクト（環境委員会）を構成し、ゴミの分別廃棄の啓発と実行を行いました。

3ヵ月毎の定例会では、特別講演会を開催、18年度は、吉澤秀治氏「炭と微生物を活かした環境浄化」、平井美代子氏「総合学習で環境学習リーダーと教師の連携について」、奥村春夫氏「身近な歴史環境を活かしたまちづくり」、大島錬三氏「家庭環境における有害化学物質について」。これらの講演会は一般にも公開しました。



八王子市内の環境情報の網羅を目指して会報を3ヶ月ごとに発行し、団体加入している八王子市民活動協議会では、八王子デビュー講座の企画・運営にスタッフとして参加しました。

「ホームページ <http://www.shiminkatudo-hachioji.jp/eco.network-hachioji/>」

## 八王子・日野カワセミ会

八王子・日野カワセミ会は1985年発足、現在の会員数は小学生から80才台まで約200名です。活動領域は八王子市、日野市で、毎月1回会員及び一般市民を対象に探鳥会を実施、20ヶ所以上の定点で毎月1回野鳥の生息数をカウント調査する他、冬鳥・夏鳥の一斉調査、カルガモ・イワツバメ営巣調査、サシバの渡り調査などの調査を幅広く行って、結果を会報やホームページで公表しています。

最近では小中学生に対する野鳥観察支援の要請が多く、年間30回以上学校に出向き、環境学習を主体とした総合的学習の推進に協力しています。また、毎年6月の八王子市環境フェスティバルに出展し、浅川の野鳥解説や野鳥の密猟防止を訴えています。

平成18年は会発足20年を記念して、20年間の野鳥調査記録をまとめた「数え上げた浅川の野鳥2」を刊行しました。「数え上げた・・・」という名称は、野鳥の羽数や巣の数を「数えて、記録し、それを蓄積」したものであるという意味が込められています。右の写真は18年の八王子市環境フェスティバルで小学生が上演したカワセミ会オリジナル制作紙芝居「カワセミさんとオオルリ君」(2006年6月、JR八王子駅北口、西放射線通り)です。



小学生による紙芝居

「ホームページ <http://kawasemi.fan-site.net/>」

## 八大緑遊会

### 1. 設立時期と経緯

「東京都環境学習リーダー養成講座」を卒業し、更に、1999年東京都募集の「みどりの保全活動リーダー講座」を受講した人達20名から始まったボランティア団体。「東京都八王子大谷緑地保全地域」をフィールドとし、東京都環境局の認可を受け、2000年4月より活動を開始しました。現在、八王子市市民を中心とする会員約60名の団体になっています。

### 2. 活動内容と18年度の実績

#### (1) 大谷緑地の保全活動

大谷緑地の保全活動(萌芽更新・伐採・下草刈・植樹・椎茸作り・滅失里道の復元・炭焼き・植生調査・会員研修等)を原則月2回年29回実施しました。



大谷緑地の保全活動

#### (2) 小学生の里山体験学習

小学6校の依頼を受けて9回実施しました。うち4回は学校への出前講座でした。

#### (3) 企業等の緑地保全活動

企業の社会貢献事業としての緑地保全活動の支援・指導を年8回実施した。うち4回は大谷緑地以外の緑地保全地域にて実施しました。ほかに市民団体の指導を1回実施しました。

#### (4) 八王子市環境フェスティバル及び八王子市環境学習リーダー養成講座

八王子市環境フェスティバル(6月4日)に参加し、児童を対象に「親子木工教室」を開催した。また、環境学習・リサイクル推進協議会の依頼を受け、「八王子市環境学習リーダー養成講座(第4期)」のうち、「里山保全実技体験」(11月29日)を実施しました。

以上、18年度の活動は49回に及び、参加者は延べ1,900人を超えました。